

書籍『図説 %Z法と対称座標法の入門』初版 **第5刷** の正誤表 1 / 2

題記の書籍をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。その書籍の中で、下表に示す箇所に誤記がありましたので、お詫びして訂正します。なお、下表の「訂正箇所」の欄に赤色で示した事項が今回追加した訂正分であり、その他は前回までの訂正分です。

筆者 ; 柴 崎 誠

訂正箇所	誤っている表記	正しい表記
P7の「手順4」から 下方へ7行目	・・・算出するためには、 $1000 \underline{\hspace{1cm}} \times 3$ [kV・A] に置き換えます。・・・	・・・算出するためには、 $1000 \underline{[V \cdot A / kV \cdot A]} \times 3$ [kV・A] に置き換えます。・・・
P7の下から3行目	・・・[kV]の単位で表した $1000 \underline{\hspace{1cm}} \times 66$ [kV]の 数値に置き換えます。・・・	・・・[kV]の単位で表した $1000 \underline{[V / kV]} \times 66$ [kV]の 数値に置き換えます。
P56の(16)式の分母	$\%R_1[\%] = \dots = \frac{10.166 \times 10^{-2} \times 200}{10 \times \underline{044}^2} = \dots$	$\%R_1[\%] = \dots = \frac{10.166 \times 10^{-2} \times 200}{10 \times \underline{0.44}^2} = \dots$
P59例題1 設問文の3行目	変圧器Aの%漏れ X_T 値は、・・・	変圧器Aの%漏れ Z_T 値は、・・・
P106の下から4行目	・・・発電設備が全出力の $\underline{450}$ [kW]のとき、・・・	・・・発電設備が全出力の $\underline{900}$ [kW]のとき、・・・
P152の6行目	・・・電源電圧値の E_{SA} , E_{SA} , E_{SA} を・・・	・・・電源電圧値の E_{SA} , E_{SB} , E_{SC} を・・・
P154の7行目	先の講義 <u>03</u> で・・・	先の講義 <u>02</u> の第2項で・・・
P166の最下行	<u>前ページの図12・1</u> に表した・・・	<u>上の図12・2</u> に表した・・・
P167の3行目	・・・この <u>図12・1</u> の等価回路図を	・・・この <u>図12・2</u> の等価回路図を
P167の4行目	・・・この <u>図12・1</u> は少々不便です。	・・・この <u>図12・2</u> は少々不便です。
P167の下から4行目	・・・中性点高抵抗接地系では、 <u>図12・2</u> の	・・・中性点高抵抗接地系では、 <u>図12・3</u> の

次頁に続く

書籍『図説 %Z法と対称座標法の入門』初版 第5刷 の正誤表 2 / 2

訂正箇所	誤っている表記	正しい表記
P172 図 15・1 の変圧器の%Z値	$\%Z_T = \underline{4.3} \%$	$\%Z_T = \underline{4.08} \%$
P253 の(26・1)式	$+j5 \times (X_{G2} + X_T) \doteq \frac{1}{-j5 \times 2 \omega C_1} \quad (26-1)$	$ 5 \times (X_{G2} + X_T) \doteq \left \frac{1}{5 \times 2 \omega C_1} \right \quad (26-1)$
P264 の 1 行目	・・・零相分電流 \dot{I}_0 、及び $3\dot{I}_0$ [A/相]が・・・	・・・零相分電流 \dot{I}_0 [A/相]、及び $3\dot{I}_0$ [A]が・・・
P269 の図 29-4 の左下	(誤記の説明) C相電圧の記号が E_{ac} になっている。	(訂正の説明) C相電圧の記号を E_{sc} に訂正する。
P282 の図 30・10 の中のアーク表示	(誤記内容の説明) 図 30・10 の中の上相、中相、下相の <u>全ての碍子表面</u> に閃絡表すアークを描いてある。	(訂正方法の説明) 図 30・10 の中の上相の A 相のアークのみを残し、1線地絡故障の状態に訂正する。
以下余白		

以上